

美術科学習指導案

授業日時 令和元年 9 月 2 日 (月) 第 2 校時
授業学級 1 年 A 組男子 20 名 女子 19 名 計 39 名
授業会場 美術室
授業者 _____
指導教員 _____

1 単元名 ひっかき絵

2 本時の主眼

竹串やハサミなどを使って画用紙をひっかき、下地のクレヨン模様をだす場面で、点や線の粗密によって明暗・立体感・質感・空間の表現をすることを通して、色がもつ感情を理解し、自分なりに感じた色彩のイメージを限られた色から豊かに発想することができる。

3 本時の位置 (全 1 時間扱い中 第 1 時)

<前時> なし
<次時> なし

4 指導上の留意点

- ・竹串やハサミなど削るのに必要な道具をいくつか用意する。
- ・試し描き用紙を用意する。
- ・机間指導を行い、必要に応じてデモンストレーションを行う。
- ・新聞紙や指を使い画用紙に塗ったクレヨンを伸ばし、白い部分がないようにする。
- ・クレヨンの塗り方を何故その色を選んだかを言葉で言えるようにする。

5 展 開

過程	学習活動	予想される生徒の反応や意識 (◎)	教師の支援 (・) と 評価	時間
導 入	1 既習の内容である暖色・寒色について振り返る。	◎赤、黄色、オレンジとかが暖色 ◎青とか緑、紫が寒色	・既習の内容について振り返りを行うことで、色のもつ特徴について意識を向けることができるようにする。	2 分
	学習問題：色のもつ感情を理解し、自分のイメージしたもの表現したい。			
	2 スクラッチ参考作品を見て、制作の方法を考える。	◎昔やったことある。 ◎削るってこと？ ◎下に塗る色は削れないんだ。 ◎キレイ。 ◎難しそう。 ◎やってみたい。 ◎同じものを描いてるのに色によって印象変わるね。 ◎暖色だけを使ってるから明るい感じがする。	・スライドを使用して参考作品を見せ、どの様に制作するのかを問いかけることで、これから行う活動内容の予想とイメージをもつことができるようにする。 ・色の違う同じ題材で描かれている参考作品を見せることで、使う色によって受ける印象が違ってくことを意識することができるようにする。	5 分 3 分
	学習課題：ひっかき絵を描いてみよう			

展 開	3 スクラッチ技法を用いた制作を行う。	◎どの色を使おうかな。 ◎クレヨンをどんな風に塗ろうかな。 ◎とりあえずやってみよ。 ◎一回違う紙に試してみよ。 ◎クレヨン塗ってから黒塗るのめんどくさい。 ◎何を描こうかな。 ◎どんな風に見える？ ◎明るい感じにしたいな。 ◎冷たい感じにしたいから青とか使おうかな。 ◎黄緑を黄色と使えばて明るい感じになるかな。 ◎カッコいい感じにしたい。 ◎先生の見たいに違う色で二つ描いてみよ。	・クレヨンを塗る時に、何故クレヨンをその組み合わせで塗ろうと思ったのかを問いかけることで、選んだ色に対する意識やイメージをもたせることができる。 ・削る道具を変える、削り方に変化を持たせることで、表現の幅が増え、表現したいイメージに近づくことができる。	30分
	4 片付けをする。		評価 色の性質やそれらがもたらす感情を理解し、自分なりに感じた色彩のイメージを限られた色から豊かに発想することができたか。(作品と学習カード) ・描きだせずにいる生徒に対し、どのような感じにしたいか問いかけることで、頭の中で考えていることを言語化させ、自身の考えを整理させる。	5分
終 末	5 振り返りをする。	◎青系の色や暗めの緑や紫は寒い感じの印象をもった。 ◎赤とか黄色は、明るく暖かい色だな。 ◎自分が思う色の感じとは違う印象を持つ人がいて面白かった。 ◎色を変えるだけで印象が変わるのが面白かった。	・どのようなことに気づき、知ったかをまとめるように促すことで、本時を振り返り、学んだことを言葉にすることができるようにする。	5分